

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期山北町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

神奈川県足柄上郡山北町

3 地域再生計画の区域

神奈川県足柄上郡山北町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は2020年には9,761人となっており、1990年の14,342人よりも4,581人減少している。住民基本台帳によると2025年1月1日時点では9,263人となっている。国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によると、2045年には総人口が5,507人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、2020年には、年少人口（0～14歳）は822人、生産年齢人口（15～64歳）は5,054人、老人人口（65歳以上）は3,885人であったが、2024年には、年少人口（0～14歳）は704人、生産年齢人口（15～64歳）は4,579人まで減少した一方、老人人口（65歳以上）は3,980人まで増加している。2045年には、年少人口（0～14歳）は369人、生産年齢人口（15～64歳）は1,922人とさらに減少し、老人人口（65歳以上）についても2,522人まで減少する見込みである。

また、自然動態をみると、出生数は、1995年以降年々減少しており、2021年には30人となっている。その一方で、死亡数は168人と増加の一途をたどっており、出生者数から死者数を差し引いた自然増減は▲138人（自然減）となっている。なお、本町の合計特殊出生率をみると、2008年から2012年までは、1.21と低下しており、2013年から2017年までの間で1.27まで上昇し、2018年から2022年までは1.08と低下している。

社会動態をみると、1994年度以降、転出数が転入数を上回る社会減が続いている。

進学を機に町外に転出する若者が多いことがひとつの理由と考えられる。なお、2021年度は転入数219人、転出数261人であり、転入数から転出数を差し引いた社会減は▲42人（社会減）となっている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むにあたっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ目標の達成を図る。

- ・基本目標1 山北町における安定した雇用を創出する
- ・基本目標2 山北町への新しいひとの流れをつくる
- ・基本目標3 山北町の若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える
- ・基本目標4 安心な暮らしを守るとともに、魅力的な山北町をつくる

【数値目標】

5－2の ①に掲げ る事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	商工会会員数	357名	360名	基本目標1
イ	転入者数	237人	260人	基本目標2
	町観光入込客数	1,547千人	1,600千人	
ウ	本町における子育て環境や 支援の満足度（就学前 や や満足及び満足）	32.4%	50%	基本目標3
	子育て支援センターの年間 利用人数	6,045人	6,200人	
エ	自治会加入率	80%	82%	基本目標4

	自治会（自主防災組織）防 災訓練の実施率	94%	100%	
--	-------------------------	-----	------	--

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期山北町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 山北町における安定した雇用を創出する事業
- イ 山北町への新しい人の流れをつくる事業
- ウ 山北町の若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える事業
- エ 安心な暮らしを守るとともに、魅力的な山北町をつくる

② 事業の内容

- ア 山北町における安定した雇用を創出する事業

○本町からの流出が著しい20代～30代の人口の回復に向けて、本町の資源や産業を生かした若い世代の希望が叶うような雇用・就労環境の確保をめざす事業。

【具体的な事業】

- ・商工業の振興
- ・農林業の振興
- ・土地の有効活用 等

イ 山北町への新しいひとの流れをつくる事業

○全国に先駆けて実施してきた定住促進の取組みをより一層推進し、子育て世代や若者を中心とした生産年齢人口の流入、定住の促進をめざす事業。

○本町の強みである豊かな自然環境や観光資源を生かし、町魅力の向上やイメージアップを図り、効果的な発信をすることで山北町への新しいひとの流れをつくることをめざす事業。

【具体的な事業】

- ・定住総合対策の推進
- ・関係人口の創出・拡大
- ・若者の就学による山北町への定着の推進
- ・観光の振興
- ・鉄道のまちの復活 等

ウ 山北町の若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える事業

○定住を促進するため、結婚・出産・子育ての切れ目のない環境により一層の充実を図り、生活基盤の確立に向けた支援事業。

【具体的な事業】

- ・結婚や出産への支援
- ・子育て支援の充実 等

エ 安心な暮らしを守るとともに、魅力的な山北町をつくる事業

○まちづくりの大きな柱となる住民活動を支えに近隣関係やコミュニティ活動を大切にする気風を創りあげ、身近な地域で支え合う高齢者や障がい者の社会参加や子どもたちの安全を見守る地域社会の形成を行い、住みつけたいまちをめざす事業。

【具体的な事業】

- ・コミュニティ活動の活性化
- ・いつでも、どこでも、だれでも学べるまちづくり
- ・スポーツ・健康まちづくり
- ・安全安心のまちづくり
- ・交通対策の充実 等

※なお、詳細は山北町人口ビジョン（2024年度改訂版）・山北町デジタル

田園都市構想総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（ＫＰＩ））

4 の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,850,000 千円（2025 年度～2029 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

毎年度 3 月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式 WEB サイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2030 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2030 年 3 月 31 日まで